

**製品名: カスパーゼ 3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85200**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 32 kDa; Observed MW: 32 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Caspase 3
別名	CASP3; CPP32; Caspase-3; CASP-3; Apopain; Cysteine protease CPP32; CPP-32; Protein Yama; SREBP cleavage activity 1; SCA-1
遺伝子 ID	836.0
SwissProt ID	P42574
免疫原	ヒトカスパーゼ 3 の合成ペプチド

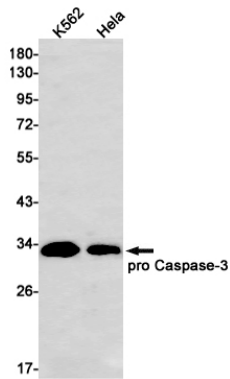
**背景**

カパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カパーゼは不活性なプロ酵素として存在し、保存されたアスパラギン酸残基におけるタンパク質分解処理を受けて大小 2 つのサブユニットを形成し、これらが二量体化して活性酵素を形成します。

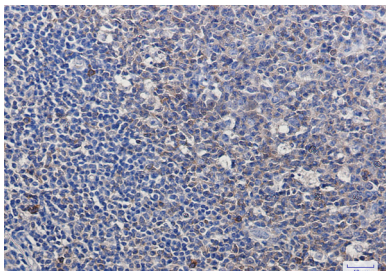
## 研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

## 画像データ



カパーゼ 3 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の Pro Caspase3 のウェスタンブロット分析。



プロカパーゼ 3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。